

内管工事見積単価表

(普通工事)

令和7年1月1日

上野都市ガス株式会社

適用範囲

本単価表は通常の木造建築（木質系、軽量鉄骨系プレハブ住宅を含む）にかかわるガス内管工事に適用します。管径が40A以上の配管や鉄骨造・鉄筋コンクリート造の場合は、別途算定の特殊工事となります。

工事区分

本単価表で使用する用語の定義は以下の通りとします。

- 新設工事 : ガスメーターを新規に取付ける工事で、建物の新築、既築に関わらず、新規の都市ガス配管工事をいう。家屋を解体した後再度設置する場合、他燃料からの切替えも新設工事として取り扱う。
- 増設工事 : 既設ガス設備にガス栓を追加する工事で、既設ガス配管から分岐取出しまたは接続し、ガス栓を増設する工事をいう。
- 変更工事 : 既設ガス設備を移設または取替（入替）する工事をいう。
- 撤去工事 : 既設配管の部分的な撤去やラインを撤去する工事で、新たな敷設工事がないものをいう。

見積算定

工事費の算定にあたっては、税抜単価を用います。

1円未満の端数処理により、税込単価を用いた場合とでは差異が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、見積り延長は、管種・口径別に0.5m単位とし、端数は切り捨てます。但し、全延長が1.0m未満の時は1.0mとします。

その他本単価表に記載のない項目については、別途個別見積りさせていただきます。

目次

適用範囲、用語の定義、見積算定、目次	1
I. 適用基準	
1. 新設工事基準	2
2. 増設・変更工事基準	3
3. 撤去工事基準	3
II. 見積単価表	
1. 新設工事単価	4
2. 増設単価	4
3. 撤去工事	5
4. 共通項目	5

I 適用基準

1. 新設工事基準

- (1) 適用条件 新規にガスメーターを取付ける工事で、通常の木造建築（木質系、軽量鉄骨系プレハブ住宅を含む）にかかわるガス内管工事に適用します。
- (2) 見積算定 新設ガス工事の見積金額は以下のように算定します。
- 見積金額 = ①埋設配管単価×延長 + 非埋設鋼管×延長
+ ②基本工事費×メーター数
+ ③新設フレキ管ライン単価（フレキヘッダー + A単価×ライン数 + B単価×ライン数 + 2階以上立上りライン×ライン数）
+ ④フレキ単価×延長
+ ⑤ガス栓単価
+ ⑥付帯工事費
- ① 埋設配管単価及び非埋設鋼管単価 【表1】
敷地境界より宅内ヘッダーまでの配管及び宅内の鋼管・PE管に適用し、種類別、サイズ別に算定します。見積延長は0.5m単位で計算し、端数は切捨てとします。但し延長が1.0m未満の場合は1.0mとします。
- ② 基本工事費 【表2】
新設配管工事でメーター廻りの工事をガスメーター1台につき1式で計上します。
- ③ フレキ管ライン単価 【表3】
ヘッダーからガス栓前までのフレキ配管工事に適用します。単価は配管、ライン数によって下記のライン単価を適用します。
- (a) A単価 フレキヘッダーより第1ラインまたは第2ラインのフレキ配管に適用します。
(b) B単価 フレキヘッダーより第3ライン目以降のフレキ配管に適用します。
サブヘッダーへのライン配管も1ラインとしてB単価を適用します。
- (c) 2階以上立上りライン
2階以上へのフレキ配管ラインに適用します。ただし、1ラインの最大延長距離は圧力損失を考慮して定めます。
- ④ フレキ単価 フレキヘッダー方式を使用しないフレキ配管工事に適用します。 【表4】
- ⑤ ガス栓単価 ガス栓を設置する場合に適用します。 【表9】
ガス栓取付工事に伴う電気工事が必要な場合は、別途工事となります。
- ⑥ 付帯工事費 【表10】
- (a) 天井立下り配管費 天井配管方式で施工する場合の天井立下りラインに適用します。
(b) ヘッダーケーシング材料 外壁ヘッダー方式で施工する場合に適用します。
(c) サブヘッダー 2つ目以降のヘッダーを施工する場合に適用します。
(d) 貫通工費 ガスメーター周り以外で逃げ工事を含む貫通工事が必要な場合に適用します。
- ⑦ 特殊作業費 高所作業配管、夜間工事および休日工事加算等が必要な場合に適用します。【表11】
- ⑧ 消費税等相当額 税抜単価による総見積額（共通加算項目含む）に対して消費税法に基づく消費税率を乗じます。
- ⑨ その他 上記以外の項目及び保安上必要なガス栓については別途見積させていただきます。

注) 上記①～④の配管工事に含む項目

- ・ 配管工事費（配管材料費、労務費、材料運搬費、設計監督費、検査費）
- ・ 普通管支持工事費
- ・ 防錆塗装・絶縁工費
- ・ メーターガス栓
- ・ 検圧プラグ

2. 増設・変更工事基準

- (1) 適用条件 増設・変更工事基準は、増設工事及び変更工事に適用します。
- (2) 見積金算定 増設・変更工事の見積金額は以下のように算定します。
- 見積金額 = ①埋設鋼管・PE配管単価×延長 + 非埋設鋼管×延長
+ ②基本工事費(工事箇所の数による)
+ ③フレキ単価×延長
+ ④ガス栓単価
+ ⑤付帯工事費
- ① 埋設配管単価及び非埋設鋼管単価 【表5】
敷地境界より宅内ヘッダーまでの既設配管および宅内の鋼管・PE管の増設・変更をする場合に適用し、種類別、サイズ別に算定します。見積延長は0.5m単位で計算し、端数は切捨てとします。但し延長が1.0m未満の場合は1.0mとします。
- ② 基本工事費 【表6】
増設・変更工事を行うにあたり発生する基本的な施工費用で、メーターの移設、配管の分岐、延長箇所の数により算定します。
- ③ フレキ単価 【表7】
既設管よりフレキ配管を増設・変更する場合に適用します。見積延長は0.5m単位で計算し、端数は切捨てとします。但し延長が1.0m未満の場合は1.0mとします。
- ④ ガス栓単価 【表9】
ガス栓の設置する場合に適用します。ガス栓取付工事費を含むが電気工事が必要な場合は別途工事となります。
- ⑤ 付帯工事費 【表10】
- (a) 天井立下り配管費 天井配管方式で施工する場合の天井立下りラインに適用します。
- (b) サブヘッダー 2つ目以降のヘッダーを施工する場合に適用します。
- (c) 貫通工費 ガスメーター周り以外で逃げ工事を含む貫通工事が必要な場合に適用します。
- ⑥ 特殊作業費 高所作業配管、夜間工事および休日工事加算等が必要な場合に適用します。【表11】
- ⑦ 消費税等相当額 税抜単価による総見積額（共通加算項目含む）に対して消費税法に基づく消費税率を乗じます。
- ⑧ その他 上記以外の項目及び保安上必要なガス栓については別途見積させていただきます。

注) 上記①～③の配管工事に含む項目

- ・ 配管工事費（配管材料費、労務費、材料運搬費、設計監督費、検査費）
- ・ 普通管支持工事費
- ・ 防錆塗装・絶縁工費
- ・ メーターガス栓、検圧プラグ（メーター移設の場合）

3. 撤去工事基準

- (1) 条件 撤去工事は、既設ガス設備を撤去する場合に適用します。
- (2) 見積算定 ガス工事費の算定にあたっては、以下のように算定します。
- 撤去工費 = ①配管単価×延長
+ ②付帯工事費
- ① 撤去工事に係る配管単価 【表8】
敷地境界より宅内ヘッダーまでの既設配管および宅内の鋼管・PE管の増設・撤去をする場合に適用し、種類別、サイズ別に算定します。見積延長は0.5m単位で計算し、端数は切捨てとします。但し延長が1.0m未満の場合は1.0mとします。
- ② 付帯工事費 【表10】
研り、掘削・埋戻等必要な作業に対し、研り工費、掘削・埋戻工費等を算定します。また、既設管の管末において、プラグ止め、PEキャップ止めのほか必要な部材については管末処理継手類を計上します。

II 見積単価表

1. 新設工事

【表1】埋設配管・非埋設鋼管単価（新設）

	埋設鋼管（VL管）・PE管			非埋設鋼管（白ガス管）		
	管サイズ	税抜単価	10%税込	管サイズ	税抜単価	10%税込
新設	～20A	4,030 円/m	4,433 円/m	～20A	4,000 円/m	4,400 円/m
	25A	4,490 円/m	4,939 円/m	25A	4,340 円/m	4,774 円/m
	PE30A・VL32A	5,380 円/m	5,918 円/m	32A	4,950 円/m	5,445 円/m

【表2】基本工事費（新設）

適用	メーター立上り管サイズ	税抜単価	10%税込単価
新設	～25A	28,000 円/式	30,800 円/式
	32A～	33,200 円/式	36,520 円/式

【表3】フレキ管ライン単価（ガス栓含まず）

	フレキ管サイズ	税抜単価	10%税込単価
フレキヘッダー		7,000 円/式	7,700 円/式
A単価（2ラインまで）	～32A	18,000 円/ライン	19,800 円/ライン
B単価（3ライン以降）	～32A	7,000 円/ライン	7,700 円/ライン
2階以上立上りライン	～32A	18,000 円/ライン	19,800 円/ライン

※2階以上の配管であっても階層が同じ場合はサブヘッダーを用いてライン単価:A単価・B単価を使用
 ※集合住宅等別々に2階以上に配管する場合はライン数を計上

【表4】フレキ管単価（ガス栓含まず）

	フレキ管サイズ	税抜単価	10%税込単価
フレキ配管	～32A	3,920 円/m	4,312 円/m

※フレキヘッダー方式を使用しない場合に限り適用する。

2. 増設・変更工事

【表5】埋設配管・非埋設鋼管単価（増設・変更）

適用	VL管・PE管			白ガス管		
	管サイズ	税抜単価	10%税込単価	管サイズ	税抜単価	10%税込単価
増設・変更	～20A	3,940 円/m	4,334 円/m	～20A	3,900 円/m	4,290 円/m
	25A	4,380 円/m	4,818 円/m	25A	4,240 円/m	4,664 円/m
	PE30A・VL32A	5,290 円/m	5,819 円/m	32A	4,830 円/m	5,313 円/m

【表6】基本工事費（増設・変更）

	メーター立上り管サイズ	税抜単価	10%税込単価
メーターの移設	～25A	28,000 円/式	30,800 円/式
	32A～	33,200 円/式	36,520 円/式
配管の分岐を伴う増設・変更		5,000 円/式	5,500 円/式
配管の延長による増設・変更		2,000 円/式	2,200 円/式

※変更については、増設単価のみを計上

【表7】フレキ単価（ガス栓含まず）

適用	フレキ管サイズ	税抜単価	10%税込単価
増設	～32A	3,920 円/m	4,312 円/m

※変更については増設単価のみを計上

3. 撤去工事

【表 8】埋設配管・非埋設鋼管単価（撤去）

適用	VL管・PE管			白ガス管		
	管サイズ	税抜単価	10%税込単価	管サイズ	税抜単価	10%税込単価
撤去	～20A	860 円/m	946 円/m	～20A	860 円/m	946 円/m
	25A	1,040 円/m	1,144 円/m	25A	1,040 円/m	1,144 円/m
	PE30A・VL32A	1,120 円/m	1,232 円/m	32A	1,120 円/m	1,232 円/m

※埋設配管の撤去において、研り工費、掘削・埋戻工費等は別途算定

4. 共通項目

【表 9】ガス栓単価

	税抜単価	10%税込単価
ハンドガス栓 15A	3,800 円/個	4,180 円/個
ハンドガス栓 20A	4,900 円/個	5,390 円/個
フレキ用ガス栓 15A	5,500 円/個	6,050 円/個
フレキ用ガス栓 20A	6,300 円/個	6,930 円/個
可とう管ガス栓	4,300 円/個	4,730 円/個
一口ガス栓	6,500 円/個	7,150 円/個
二口ガス栓	9,500 円/個	10,450 円/個
一口ガス壁コンセント	8,200 円/個	9,020 円/個
一口ガス床コンセント	8,700 円/個	9,570 円/個
ガス壁コンセント電気付 (1口)	8,400 円/個	9,240 円/個
ガス壁コンセント電気付 (2口)	8,500 円/個	9,350 円/個
屋外コンセント	8,600 円/個	9,460 円/個

【表 10】付帯工事費

項目	税抜単価	10%税込単価
天井立下り配管費	4,800 円/ライン	5,280 円/ライン
ヘッダーケーシング材料費	6,600 円/個	7,260 円/個
サブヘッダー	4,800 円/式	5,280 円/式
機器接続工費	5,000 円/箇所	5,500 円/箇所
貫通工事	5,000 円/式	5,500 円/式
研り工費	20,000 円/m ²	22,000 円/m ²
掘削・埋戻工費	50,000 円/m ³	55,000 円/m ³
活管切断工費	5,000 円/箇所	5,500 円/箇所
管末処理継手類	1,500 円/箇所	1,650 円/箇所

※コンクリート補修、その他付帯工事発生時は別途算定

【表 11】特殊作業工事費

項目	内容	割増額 (税別)
高所作業割増	床面から 2.0m以上の場所で施工する場合	通常工事の 20%割増
夜間 (休日) 工事割増	午後 7時から午前 6時まで若しくは当社で定める休日に工事を行う場合	通常工事の 35%割増

【改定】

平成 21 年 6 月 1 日	鋼管単価改及び、フレキ・PE管単価新設
平成 27 年 1 月 1 日	表記の変更(コック→ガス栓) ガス管撤去単価新設(建物解体等に伴うもの)
平成 29 年 7 月 16 日	ガス栓の単価改及び、ガス栓型式廃止
令和 2 年 4 月 1 日	適用条件を一部変更 基本工事費を戸建・集合で統一、ヘッダー単価を分割 ガス栓価格変更・付帯工事(サブヘッダー料金変更・コア抜き追加)
令和 2 年 11 月 1 日	基本工事費の明確化、新設工事にフレキ管単価を設定
令和 3 年 4 月 1 日	見積単価表を総額表示に対応
令和 4 年 3 月 10 日	ガス栓の単価改定
令和 7 年 1 月 1 日	見積単価表の改定